



いっぺいといっぷく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「よぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.101 やらされ感



仕事の場面で、「やらされ感」という言葉をよく耳にします。
仕事の「仕」は、つかえる、目上の人につき従うという意味ですから、仕事で「やらされ感」を感じるのは、当然のことかもしれません。

「指示されたことをやるだけ」という状態も、「やらされ感」を感じて、積極的に仕事に取り組めないという声も聞きます。

しかし、今の日本は、「指示されたことをやる」だけでは立ちゆかない時代です。なぜなら、少子化、超高齢化、人口減少が、誰も経験したことのないスピードで進み、「これを実行すれば、必ず解決できる」という答えは誰も持ち合わせていないからです。大量生産、大量消費のこれまでの時代は、言われたことを言われた通りにやれる人が良かったかもしれませんが、これからはそうはいきません。

「やらされ感」を感じながら行う「仕事」を、「こうすれば、きっと良くなる」「私はこうしたい!」という発想や思いを持った「志事」に変えることができれば、自分の人生はもちろん、この社会もより豊かにすることができるのではないでしょうか。若い人達が、長い人生の中で「やらされ感」を感じながら、嫌々仕事をするのは、非常にもったいないと思うのです。

「仕事」を「志事」に変えるために必要なことは、自分で考え、動く力です。その力を身に付けるためには、子ども時代の「遊び」が重要だと私は思います。

「遊び」は、誰かにやらされることではなく、自ら工夫し、楽しみながらやることです。元々、子どもは、何もなかったころからでも、試行錯誤して「遊び」を生み出す能力を持ち合わせています。

ところがここ50年近くの間、大人達は毎日が忙しく、時間に余裕がなくなり、子どもが遊ぶときでも「次はこのおもちゃで遊びましょう」とか「あれはダメ。これもダメ」などと先回りして、子どもが自由に発想して遊ぶ時間やその能力を伸ばす機会を奪ってきました。その結果として、「指示されることをやるだけ」の大人を育ててしまったように思います。

人生100年時代を迎え、定年後の時間は驚くほど長くなりました。定年後の20年、30年という時間は、仕事のように誰かから指示をされることはありません。自分で考えて、自分から動かなければ、途方もなく長く、退屈な日々になってしまいます。

アイルランドの文学者ジョージ・バーナード・ショーが、こんなことを言っています。

「年をとったから遊ばなくなるのではない。遊ばなくなるから年をとるのだ」

「遊び」というのは、どの世代にとっても大切なことなのです。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは! **西小学校区まちづくり協議会** 検索 です。

◆西ステーションでの子育てイベント◆

『ベビータッチケアセラピー』

(月末の月曜日10:30 要申込 参加費500円)

『子育て応援サロン』

(第4金曜日10:30 申込み不要 無料)

◆西ステーションには、授乳室・おむつ替えの台・子ども用トイレ・ベビー体重計があります。お子さんを連れて、いつでもお気軽にお立ち寄りください。

※「第9回西小学校区夏祭り」は新型コロナウイルスの感染が急激に拡大したため中止となりました。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
Eメール nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 小学校区まちづくり協議会
0561-61-5914

■地域の防災会議をキックオフ!

●第1回の地域防災ローカル会議を開催します。

日時 9月4日(日) 10:00~12:00

場所 市が洞小学校区共生ステーション会議室

参加者 地域で活動する各種団体・個人

議題 【緻密な地域連携と結びつきをコンセプトに推進】

- ・一斉防災訓練について
- ・災害時の安否確認方法について
- ・避難行動要支援者への取り組み状況について
- ・継続的な開催の仕組みづくり



長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

